

令和7年度

「運営に関する計画」

(中間評価)

大阪市立八幡屋小学校

令和 7 年 11 月

大阪市立八幡屋小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>94%以上</u>にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>91%以上</u>にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>90%以上</u>にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を<u>100%</u>にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・減災教育を通じて、安全・安心な教育活動を目指す</li> <li>・道徳教育や避難訓練前後の指導を通して、防災や安全に関連する学習内容を指導し、防災への意識や関心を高めていくようとする。</li> </ul> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練等を年に3回実施する。</li> <li>・引き渡し訓練を年に1回実施する。</li> <li>・避難訓練後に避難訓練アンケートを行い、「災害が起こったときに行なうことがわかる」の項目で肯定的に回答する児童を100%にする。</li> </ul>	C
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育活動の推進】</p> <p>児童会活動を通して、学期ごとに「あいさつキャンペーン」やと「右側通行キャンペーン」を1回ずつ行っていく。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校アンケートで「きまりやルールを守っている」の項目で肯定的に回答する児童を92%以上にする。</li> <li>・児童会が作成した児童向けアンケートで「あいさつ」に関する項目で肯定的に回答する児童を90%以上にする</li> </ul>	B

**取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】**

- ・平和や人権、多文化共生についての理解を深めるとともに豊かな心の育成をはかる。
- ・国際理解教育の実践を中心に多様な価値観や文化があることを知ることで、多文化共生を推進していく。
- ・平和教育を通して、豊かな心情や互いの文化や習慣を尊重しあい、平和を願う心を育てる。

B

**指標**

- ・年間で児童理解研修会・平和学習集中実践などの報告会を3回行う。
- ・「いじめ（いのち）について考える日」では、児童の発達段階に応じて、全学年でいじめについて考える取り組みを行う。
- ・月1回の生活指導連絡会・いじめ対策委員会を開き、学年の実態把握、情報共有を行い、子どもたちを支えていけるような体制を整える。

**年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析**

**【取組内容①】**

今年度は1学期（火災）（地震）、2学期始（台風）の避難訓練を行ってきた。引き渡し訓練も実施することができた。しかし、2学期の児童アンケートでは、「災害が起ったときにすることがわかる」の項目で肯定的に回答する児童は、98.0%であり目標を達成できなかった。今後も社会科や道徳科の学習で教科横断的に指導して数値の達成を目指したい。

**【取組内容②】**

2学期の児童アンケートで「きまりやルールを守っている」の項目は99.0%、「しっかりとあいさつをしている」の項目は91.0%、「友だちや先生の話を聞いている」の項目では、現段階では目標を上回っている。今後継続していく。

**【取組内容③】**

児童理解研修会は行うことができた。平和教育実践報告会も1月末を予定している。

「いじめについて考える日」では全校児童朝会の場で校長先生より講和があり、その後も各学年で「いじめについて」と考える取り組みができた。

月1回の生活指導連絡会も継続して行っている。

大阪市立八幡屋小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかつた	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学力向上を目指して、主体的・対話的で深い学びを得るために授業づくりに取り組み、個に応じたきめ細かで継続した指導・支援の充実を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>算数科の評価テストにおいて、いずれの学年も平均を70点以上にする。</p> <p>国語科・算数科の単元テストにおいて、第4区分に相当する児童の割合を5パーセント以下にする。</p>	C
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>体を動かす機会を多く持てるよう工夫し、児童が進んで楽しく運動する習慣を付ける。</p>	
<p>指標</p> <p>学校アンケートの「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目に対して75%以上が肯定的に回答している。</p> <p>新体力テストを年2回実施し、2回目の結果を1回目より向上させる。</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>保健指導を通して朝ご飯の大切さについて伝え、保健便りや掲示物で各家庭に啓発する。</p>	
<p>指標</p> <p>学校アンケートの『「毎朝、ごはんを食べている」ことは大切である』の項目に対して肯定的に回答する児童を85%以上にする。</p>	B

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析（中間）

### 【取組内容①】

国語に関しては各学年単元テスト平均70点以上クリアしているが、算数においては単元によって70点を下回るものもある。単元ごとに分析すると計算領域（繰り上がりの計算・小数、分数の掛け算割り算）・図形（円の面積・立体の体積）などが70点を下回ってしまう。また、思考力を問われる問題で平均70点を下回る単元もある。今後はテスト前に事前復習を個人用端末や東書ライブラリのドリルなどを効果的に使って平均点を上げるようにする。また、思考力に関する問題は何を問われているのかがわかつていない児童がいることがわかるので、読解力向上の取り組みである総合的読解力の取り組みや5分間ドリル・日記指導・きらめきアタック等を合わせて取り組んでいく。算数科については単元によって25点以下の児童が2名以上複数学年で見受けられる。基礎学習の定着を本校で実施している放課後学習などでさせていきたい。併せて教職員の授業力向上のための取り組みも行っていく。（計算ドリルの直し・・事前復習）

#### ※学年で児童に覚えさせたい単元

1年「10の合成」 2年「九九」 3年「わり算」 4年「わり算ひつ算」「概数」  
5年「通分」「約分」「割合」「速さ」 6年「比」

### 【取組内容②】

2学期アンケートでは全学年で肯定回答が91.0%と指標の数値よりも大幅に超えている。ただ、否定的な回答をしている児童の割合が10.0%を超えている学年もあることも分かった。運動を進んでできる環境づくりを学校全体で取り組んでいく。  
2回目の新体力テストでは、実施前に児童に前回の結果を見せ、前回よりも成績が向上するためにどのような取り組みをすればよいか考えさせ、事前練習に意味を持たせて取り組ませていく。前回の最高記録の結果を掲示するなどして意欲を持たせる。

### 【取組内容③】

学校アンケートでは肯定的回答は88%と指標の数値を超えている。保健室から発行する「保健だより」や発育測定や保健の授業時に朝食の重要性を児童に継続的に教えていることで家庭にも伝わっていることがわかる。懇談や保護者会で朝ごはんを食べる・食べさせる啓発を促していく。保護者に児童に食べさせてもらうためのアプローチの方法を考えていく。栄養教諭の食育の授業等も活用していく。

大阪市立八幡屋小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の<u>75%以上</u>にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕</p> <p>○年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を<u>80%以上</u>にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>心の天気の入力を習慣化することによって、学習者用端末を活用する機会を増やす。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>心の天気を児童の80%以上が入力することを習慣化する。</li> </ul>	C
<p>取組内容②【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協働学習支援ツールを用いた学習を通して、学びに向かう力を身につける。</li> <li>タイピングカリキュラム等を作成してPCのタイピング能力を高められるようにする。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協働学習支援ツールを用いた学習を週2回実施する取組を行う。</li> <li>スカイメニューを使った研修を視聴覚担当の先生と計画をたてて行う。</li> <li>学年に応じたタイピングの目標を決めてタイピングの練習を行う。</li> </ul> <p>（文部科学省が定めた目標が1分間40文字）</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>働き方改革の取組を通して、働きやすい職場づくりを行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆとりの日については、週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、冬季休業期間においては1日以上設定する。</li> <li>ゆとりの日には会議等を設定せずに、17時退勤を目標とする。</li> <li>始業式、終業式の前倒し、後倒しを行う。</li> <li>家庭訪問、懇談会時は4時間授業。</li> <li>1学期最終週を短縮授業、2学期開始週を4時間と設定し、9月にも酷暑が見込まれるので2週間を5時間授業とする。</li> </ul>	B
<p>取組内容④【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読書環境や読書活動の充実を図る。</li> <li>読書活動の充実を図る手立てを図書委員会を中心に考えて実行する。</li> <li>小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>73%以上</u>にする。</li> </ul>	B

## 指標

- ・読書環境を整える手立てとして、子どもの興味関心に即した本を増やしたり、学校図書館を運営することを委員会活動とひとつとして会開放日を週2回程度設定したりする。
- ・学級文庫の入れ替えを年1回以上行う。
- ・図書室の環境整備を行いながら利用しやすい環境を作る。

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析（中間）

○年度目標にあげている児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の75%以上にする。

5月90% 6月95.2% 7月92.3% 8月100% 9月85%

年度目標である75%は達成できている。

### 【取組内容①】

一方で「心の天気」に関しては（1～6年 平均）

4月69% 5月71% 6月70% 7月68% 8月71% 9月79%

と平均して70%前半となった。

Google ドライブの使用率が高い結果がでている。授業で記録を残すために写真を撮って保存したり、調べ学習などの検索をしたり、休み時間の使用などが影響していると考える。

「心の天気」が伸び悩んでいる。全体では放送委員会で「朝の放送」各学級では「朝の会」などで「心の天気」を入れましょう」と促してもらっている。今後、「朝の放送」「朝の会」での促しを継続しながら、日常から「心の天気」が入れられていない児童にはフォローしていく。

### 【取組内容②】

タイピングが上達できるように、ローマ字表とともにタイピングフォームの表を全クラスに配布する。タイピングの練習時間を意図的に設けるために、水曜日の「ナビマ」と「らっこたん」を隔週で行うこと検討し、タイピングの上達を見える化するために「タイピング選手権」を考えている。

教職員のスカイメニュー研修では、視聴覚主任を中心に「10分研修」を行っていく。何か一つ機能を覚えていくような研修である。事前に参加する教員は募るが、参加自体は自由とすることや時間を極端に短くすることで、他の仕事にも圧迫しないようにする。

### 【取組内容③】

「ゆとりの日」については週に必ず1日設定している。翌週の週連絡版を配布して各々で週の計画をたてて仕事に取り組んでもらっている。「平均時間外勤務時間」も毎月1時間程度縮めている。家庭訪問や懇談時には、4時間授業にすることで午後からの時間確保する。今まで夏休みを利用して遠足や社会見学の下見に行っていたが、平日に行けるようになった。下見と当日の日が近いことで、現場でのズレや相異も少なくて済むことで安全に校外学習ができる。

### 【取組内容④】

学校図書館を運営する図書委員会が中心となって週3回の図書館開放してくれている。図書館開放の際には図書委員会が放送で告知して、おすすめの本紹介もしてくれている。また、八幡屋小学校の図書ボランティアの方々と港図書館の協力のもと「えほん広場」を開催し絵本に興味をもたせることができた。今後も継続していく。